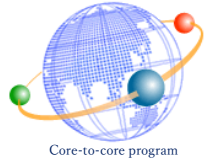




# NEWSLETTER Vol.36



Food and Agricultural Immunology Network (FAIN)

## 拠点形成研究交流報告：オランダ ワーゲニンゲン大学での 共同研究の打合せ

2019年2月に、オランダの研究拠点校であるワーゲニンゲン大学（Wageningen University and Research）を訪問し、Kai Purnhagen 准教授と共同研究に関する打合せを行いました。

私は、2019年3～9月に「東北大学若手リーダー研究者海外派遣プログラム」によりオランダに半年間滞在し、今回訪問したワーゲニンゲン大学の Kai 准教授のもとで、共同研究を進める予定です。今回の訪問では、研究テーマである「食品の機能性表示規制と消費者行動」について調査設計等について意見交換を行いました。Kai 准教授は、法と経済学が専門で、近年は行動科学や経済学の知見を活かした食品リスクの規制に関する研究に取り組んでいます。共同研究では、食品表示に関するルールの異なる地域において、食品表示規制が消費者行動に及ぼす影響を分析することから、Kai 准教授からは EU 域内の食品表示法の現状と今後の展開についてアドバイスをいただきました。打合せを通じて、EU の食品に対するヘルスクレーム規制の現状と日本の制度との違いについて理解を深めることができ、今後日欧で実施予定の調査設計において有意義な検討を行うことができました。

ワーゲニンゲン大学との社会科学分野の協定はまだ結ばれていないことから、今後は共同研究を推進するとともに、本学の教員・学生間の人的交流の促進にも努めたいと考えております。最後に、今回の滞在を支援していただいた JSPS 研究拠点形成事業に感謝いたします。

（文：東北大学大学院農学研究科 農業経営経済学分野 助教 水木 麻人）